

西岡寛孝様

今頃は悲しいけれど、お悔いを限り、此へく

常い心地で一杯でいます。亡き夫人のご冥福

を心からお祈り申し上げますと共に、遺族様の

お慰みが一日も早く和らぎますようにお祈り

申し上げます。生前お飛ぶく遊ばした思い出が

ほいめ、知人の方々のお祈りの中、探さ

お交際していただきます。私は息子一羽が

一九三八年―一九七一年の約三ヶ年間、ニエーリ

に滞在して、その間、海辺夫人に、お世話

になりました。その心を、衷心より感謝申し上げます。

私も四月くらい、而地へ参りまして、夫人にお目

に会いました。昨年日本へお出で遊ばれた時

は時間の関係でお目にかかる折が無く電
 話でおまつりした事をお聞きしましたの
 最後とまり本意に際しことをつたました
 非心いお知らせではいふまいだ。お詫い中
 わあ。私にまで。急いとお知らせ下さいませ
 本意に有難うございました。厚く御礼。と
 あり。何卒この遺族存へお悔みをお伝え
 下さいますようお願いか。と。あり。

へう村あし子

追伸

息子の処へも早速知らせよう

Mrs F. Imamura



Tokyo. Japan

acknowledged
with card
4/23/72

MR S. NISHIOKA



NEW YORK, N. Y. 10011

U. S. A.



PAR AVION
航空郵便

